

# 青森空港活性化ビジョン

## 策定の目的

青森空港の管理運営に携わっている空港関係者が目的意識を共有し、連携を強化することにより、今後青森空港が持続可能で真に魅力ある空港に発展するための指針。

## 位置付け

「青森県基本計画未来への挑戦(2009-2013)」を上位計画としながら、「青森空港の管理運営のあり方に関する提言」及び「青森空港を核とした観光交流促進プログラム」の内容を踏まえたもの。

## 計画期間

平成25年度から平成29年度までの5年間

## 目標指標

計画最終年度の利用客数:年間100万人以上  
(平成23年度年間80万人)

## 青森空港の役割

・国内外の地域と航空路線で結ばれることによる交流促進  
・来訪者等の消費による地域経済の成長・活性化  
の二つを実現するための公共インフラ



## 現状

### (1) 青森空港の事業とは

- 青森空港の基本的な事業は、利用者への空港施設の提供、及びこれら施設を維持管理すること。
- 青森空港の事業は航空会社、競合交通、人口減少等の社会経済 状況などに大きく影響を受ける。

### (2) 事業主体

- 管理運営、利用促進共に複数の関係者が従事。

### (3) 利用実績

- 旅客数**  
平成23年度 約80万人。ピーク(平成11年度)の半分以下の需要規模。減少の主な要因は、新幹線の延伸や航空会社の撤退など羽田路線の減少だが、羽田路線以外の旅客数も緩やかに減少。
- 貨物量**  
平成20年度までは7,000トン前後で推移。平成23年度は機材の小型化の影響もあり半減。
- 発着回数**  
平成16年度以降は年間約9,000回で推移。
- 就航率**  
平成23年度 98.4% CAT 運用開始(H19)後、大幅に改善。しかし小型の機材についてはCAT が使用できないため、濃霧や積雪に起因する欠航が見られる。
- 提供座席数**  
機材の小型化に伴い、近年大幅に減少。平成23年3月から羽田路線の一部の便で中型ジェット機B767が就航したことにより座席提供数は漸増しつつある。

### (4) 収入・支出額

- 収入**  
利用者から料金を徴収し、支出の一部に充当している。主な収入は、航空会社からの着陸料と駐車場利用者からの使用料金。料金体系は条例で定められている。着陸料は航空機の重量に応じて加算されるため、機材小型化により収入が減少する。
- 支出**  
除雪に年間約5～6億を要する。灯火の保守、消防、警備など外部委託費も大きい。CAT の運用開始により、人件費、灯火関係の委託費、需用費(部品等)が増加。

## 課題

### (1) 外部環境

#### 航空環境の変化への対応

国内航空ネットワークは、原則航空会社の経営判断に委ねられている。航空会社は国内外での競争の激化の中でコスト削減や経営合理化等を迫られており、空港側は航空会社にとって就航しやすい環境づくりをすることが必要。

#### 新幹線との共存

青森県では新幹線が整備され、東京方面との移動において航空と新幹線が競合している。今後、航空・空港の特徴を活かしながら共存していく必要がある。

#### LCC需要の掘り起こし

国内需要は、格安航空会社(LCC)が出現し、低運賃・多頻度運航により新たな需要を創出することが期待されている。国際需要は、成長が著しいアジアの活力を地域に取り込むことが課題。地方空港間の競争が激化している。

#### 二次交通の改善

レンタカー需要の取り込み(レンタカーターミナルの活用)、連絡バスの利便性向上、乗合タクシーの導入、有料道路利用者へのインセンティブ等旅行形態の変化、新幹線との共存を意識した取り組みが必要。

#### 機材の大型化

旅行商品の造成や修学旅行等の団体客の促進では、機材の大型化が必要。現在、大阪、札幌、名古屋路線はリージョナルジェット機で運航されており、搭乗率が高い水準で混雑している。

#### 防災拠点としての役割

地域の安全・安心を向上させるための防災拠点としてより一層の役割を担っていくことが必要。

### (2) 内部環境

#### 管理運営体制

滑走路、駐機場(エプロン)などの空港基本施設と空港ターミナルビル等の運営主体が分離。外部環境が変化中、国管理空港では、民間の能力を活用した一体的な経営の実現に向けた法整備等の検討が進んでいる。

#### 施設の維持管理

今後、経年劣化に伴い長期的・計画的な施設の更新が必要。

## 活性化ビジョン

### 基本理念

地域の将来計画に基づき、青森空港が北東北・青函地域のゲートウェイとして、国内外との交流促進、地域経済の活性化(産業振興、観光振興等)に資するため、顧客目線に立ち、真に魅力ある空港として発展するよう全力を尽くします。

政策	施策
航空ネットワークの維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のゲートウェイとして機能するためには、航空ネットワークの維持・拡大が不可欠であり、青森空港の顧客である航空会社が就航しやすい空港づくりを通じ、地域が必要とする航空サービス(路線、便数、機材、ダイヤ)の実現を目指します。</li> </ul>
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線との共存を図り、シームレスで質の高い交通サービスの提供を図るため、青森空港と地域を繋ぐアクセスの改善、駐車場の利便性向上、観光地や空港等における案内標識・情報提供の充実、快適な待ち時間を過ごすための空間づくりを目指します。</li> </ul>
空港を核とした地域づくり(賑わい、防災)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森空港ファンを増やし、空港に対する親近感を醸成するため、航空機を利用する以外の空港利用者の増加を目指し、定期的なイベント等を開催します。また、周辺地域の施策との連携により、防災機能の強化を目指します。</li> </ul>
適切な空港運営・効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心の確保、法令・規制の遵守、青森空港の機能維持を大前提として、行政負担の軽減と各ビジョンを実現する空港運営体制を目指します。</li> </ul>

各施策に対して取組を例示(別紙一覧表参照)

## 管理運営体制の見直しに向けた検討

### ■ 管理運営体制の現状と課題

- 定期人事異動等により高度で専門的なオペレーションとマネジメントを継続しにくい事業環境
- 料金体系が条例に定められているため、外部環境の変化に対する即応性の面で機動的、柔軟な対応が難しい
- 単年度の予算執行のため、中長期的戦略に基づく取り組みが難しい
- 青森空港の事業環境に適した事業運営スキーム(青森空港モデル)の構築

### ■ 青森空港における管理運営のあり方に関する提言

- 空港全体の集客・収益力向上には航空系事業と非航空系事業を一体化し、民間のノウハウを活用していくことが有効
- 今後の管理運営方法として「コンセッション方式」が有効な手法の一つ
- 青森空港の事業環境に適合する事業スキームとして
  - 青森空港ビル(株)に運営権を付与
  - 運営事業者の公募
 の二つのパターンを提示

### ◆ 今後の方向性

民間活力の導入と一元的管理運営体制への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港の全体最適の実現に向けた取組効果が期待される</li> <li>民間事業者の事業活動を通じた空港全体の可視化が促進される</li> </ul>
県財政・県民負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者の創意工夫によるコスト削減効果が期待される</li> </ul>
公的支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森空港の収支は支出が大幅に超過</li> <li>除雪費、補修費等の費用については財政支援を検討する必要がある</li> </ul>

### (課題)

- 航空系・非航空系事業の一体化手法
- 民間委託の範囲
- 公的支援のあり方
- 既存職員の活用・処遇検討

国管理空港の動向や関係者の意見を踏まえ、民間活力の導入によって空港全体の価値向上や地域の活性化に資する効率的な運営体制、及び民間事業者が参入しやすい事業環境の整備を目指して検討を進めていく

## 進行管理

- 今後は青森空港に関わる各主体が、基本理念及び政策の内容を共有し、施策を具体化するよう取り組みを進めていく。
- 検討委員会は、今後、毎年開催することとし、各主体が取り組み状況等の報告を行うことにより的確な進行管理と評価・検証を行い、確実に推進していく。

# 取 組 一 覧 表

政 策	施 策	取 組	新規・継続	実施期間	効 果	実施主体	
(1)航空ネットワークの維持・拡大	既存路線の利用拡大	継続的なキャンペーン、インセンティブ、プロモーションの実施	継続	H25～H29	利用客の維持拡大 地域間交流の促進 観光振興	県・空ビ・振興・促進・ 観連	
		各種取り組みの効果の検証	新規	H25～H29			
		新幹線利用との差別化、航空機利用の特性を活かした取り組み	新規	H25～H29			
		乗り継ぎ利用(羽田、仁川)の促進	新規	H26～H29			
		公務員や地元企業社員等の利用喚起	新規	H26～H29			
	機材の大型化・増便	既存路線の利用拡大(と関連)、航空会社への働きかけ	継続	H25～H29	混雑解消、旅行機会の増加		
		航空サービス拡充に向けた環境整備	継続	H25～H29			
	チャーター便の増加	トップセールスの実施	継続	H25～H29	地域間・国際交流の促進 観光振興		
		航空会社、旅行会社との継続的な交渉	継続	H25～H29			
		近隣県・地域との連携強化	継続	H25～H29			
		観光地の受け入れ態勢の強化	継続	H25～H29			
	新規乗り入れ航空会社の誘致	ハンドリング業務や新規乗り入れに伴う初期投資に係る支援	新規	H26～H29	地域間交流の促進、航空会社 間の競争促進		交通・振興・促進
		航空会社へのセールス、課題解決に向けた取り組み、試験運行の実施等	新規	H25～H29			港湾
		航空機共同保有機構に係る研究	新規	H26～H29			
航空貨物の利用促進	農水産品の輸送促進	新規	H26～H29	産業振興、県産品の付加価値 向上	県・空ビ・振興・促進		
	荷主への利用喚起	新規	H26～H29				
	機材大型化に向けた航空会社への働きかけ(と関連)	継続	H25～H29				
	物流プラットフォーム事業	新規	H26～H29		港湾		
(2)利便性の向上	二次交通の充実、駐車場の利便性向上	空港バスの券売機の設置、往復割引切符の導入	新規	H25～H29	利用客の維持拡大 新幹線との共存 地域間交流の促進	交通・振興・促進	
		空港バスの増発、ダイヤ調整等利便向上に向けた支援	新規	H25～H29			
		空港バスの運行委託(行政支援による二次交通の維持)	新規	H26～H29			
		乗合タクシーの導入、支援	新規	H26～H29			
		レンタカー利用促進に向けた支援	新規	H26～H29			
		柔軟な駐車場料金の設定(重点路線利用者、長期利用者、国際線利用者、有料道路利用者、空港ビル内での買物客に対するインセンティブ等)	新規	H26～H29			
	情報提供の充実、案内標識の整備	ホームページの内容充実、統合	新規	H26～H29	効率的な情報発信 知名度の向上	空管・空ビ	
		定期的な情報発信、SNSによる情報発信	新規	H26～H29			
		案内誘導サインの充実	継続	H25～H29	不安の解消	県・空ビ	
		青森空港何でも相談室の開設	新規	H26～H29		県・空ビ・振興・促進	
		羽田空港からのバスの時刻表掲載、京急・モノレールの切符販売	新規	H25～H29		空ビ	
		レストラン、売店の質向上	継続	H25～H29			
	快適な待ち時間を過ごすための空間づくり	空港限定商品・季節限定商品の開発・PR	新規	H25～H29	利用客の維持拡大 新幹線との共存 来港者の増加	空ビ	
		公衆無線LANの充実	新規	H26～H29			
		読書コーナーや図書室の設置	新規	H25～H29			
		送迎デッキの利活用	新規	H26～H29			
		ビジネススペースの設置	新規	H25～H29			
(3)空港を核とした地域づくり (賑わい・防災)	空港用地・施設の最大活用	「道の駅」的な集客施設、公園の整備	新規	H26～H29	来港者の増加、地域の活性化	港湾・空管・空ビ	
		再生可能エネルギー事業の導入	新規	H26～H29	環境負荷の軽減	港湾	
	空港でのイベント・催事の開催	季節折々のイベントの実施の恒例化	新規	H26～H29	地域の活性化	県・空ビ・振興・促進	
		青森空港ファンクラブの創設	新規	H26～H29	利用客の維持拡大		
	知名度の向上	青森空港のキャラクター「ひこりん」の商標登録、グッズ作成、販売	新規	H26～H29	知名度、親近感の向上		
		愛称の公募と活用	新規	H26～H29			
	防災機能の強化	フォーラム等の開催	新規	H26～H29	災害に強い地域づくり	港湾・空管・空ビ	
		青森空港の防災機能の検証と機能強化	新規	H26～H29			
	事業継続計画(BCP)の策定	新規	H26～H29				
(4)適切な空港運営・効率化	安全・安心の確保	適正な管理運営(安心・安全の確保、機能維持)	継続	H25～H29	安全・安心の確保	港湾・空管・空ビ	
		効率的な管理運営方法の実施	継続	H25～H29	県民負担の軽減	空管・空ビ	
	空港運営の可視化・空港関係者の連携強化	年次報告書の作成・公表	新規	H25～H29	空港運営の可視化・関係者の 連携強化	県・空ビ・振興・促進・ 観連	
		青森空港活性化検討委員会の継続的、定期的な開催による状況報告と意見交換、施策の進行管理と連携強化	新規	H25～H29			
	日常の維持管理費の削減	委託業務の包括化、複数年契約の実施	新規	H26～H29	県民負担の軽減	港湾・空管・空ビ	
		光熱水費の省エネルギー化	新規	H25～H29			
有料道路と駐車場の一体管理の検討・協議		新規	H25～H29				
管理運営の見直しに向けた検討	国管理空港における経営改革動向を注視しながら、青森空港における管理運営体制について検討	新規	H25～H29	効率的な空港運営、魅力的な 空港実現	港湾・空管・空ビ		

県:青森県(港湾:港湾空港課、交通:交通政策課、観光:観光交流推進課、空管:青森空港管理事務所)、空ビ:青森空港ビル株、振興:青森空港振興会議促進、青森空港国際化促進協議会、観連:青森県観光連盟